

野口遵記念館建設 市民ワークショップ通信

日時：平成31年4月17日（水）19：00～
会場：延岡市役所2階 講堂



開催の概要

ワーキングを行う最後のワークショップとなった今回は23名に参加して頂くことができました。主旨説明ではこれまでの検討として基本構想および基本計画において定めた方向性について確認しました。最新案の説明では舞台倉庫、楽屋トイレ、アーティストラウンジをまとめた形で確保したことや劇場トイレを再検討し便器数を増やしたこと等の変更点と、ホール内の詳細として反射板の展開方法と幕類の吊物の位置や客席の構成について説明させて頂きました。同時に質疑応答の時間を設けさせて頂き皆様の疑問が解消することができたのではないかと思います。今回のワーキングでは、参加者の皆様に事前にご意見を考えて頂くようお願いしました。考えて頂いた内容をグループ内で順番に発表し、他の参加者の意見に耳を傾け参加者同士が多様な意見を共有することを目指しました。最後にグループ内で整理された内容を各グループごとに発表して全4回に渡るワーキングを締めくくる事ができたと思います。

当日の全体の流れ

- 1.開会の挨拶
 - 2.主旨説明
 - 3.前回のまとめ、最新案の説明、ワーキングの進め方について
 - 4.ワーキング（自己紹介、意見交換、とりまとめ、グループ発表）
 - 5.設計者より一言
 - 6.閉会、事務連絡
- 参加者 **23人**

ご意見の概要

4つの班に分かれてのグループワーク

ワーキングのテーマ「施設の活用の仕方、具体的活動のイメージ」

全体

文化センターと共に県北の中核ホールの1つとして大分や熊本と連携した「東九州の核」となるホール 音響の優れたホール/生まれ育った延岡でのホール体験が自分のスタンダードとなる→野口遵記念館がスタンダードとなる様な音楽ホールに/延岡市民のためのホールであると共に「延岡の核」となるホール/自分の気持ちがワクワクする様なところ/ホッと気持ちの落ち着ける場所と、その逆に気持ちの高揚できる場所/はやく市役所との話し合いが必要/多対応で！←多目的ではなく

舞台

良い響き（演奏者、観客にとって）にこだわりたい/舞台の高さをどうするか/舞台の管理 施設管理 何名で対応？/どん帳は、大小ホールに立派なものがあるのでそちらを使って欲しい。多目的になるとお金がかさむのでは？/無理とは聞いているどん帳がやはりほしい/プロの公演を楽しみたいのでそれに十分な配慮のあるホールになってほしいです。（本ホールに希望）/このホールには良い音響を期待します。室内楽や、古楽、ドイツリートなど楽しみたいです。既にある大ホール・小ホールとの使い分けが要すると思う/多目的ホールでありながらクラシック等の演奏会に対応できる設備（グランドピアノ）チェンバロ・ポジティブオルガンを備えれば、多彩なコンサートが可能になる/少人数の演奏でも気持ちよく（音響）/舞台のサイズで可変・多対応（小さい舞台も）/舞台袖（出演者）～衣装の上に羽織る羽織りものを置く棚がほしい/ホールのコンセント 音の良いホール/備品対応を考える（反射板）/厳しい条件をクリアする気積を確保 音響は大切

客席

50～100名規模のホールスペースをきちんと作って欲しい/客席後部の音響/カメラ席があると良い/3階席 バルコニー席数は？/客席の利用方法/舞台が見やすい席の配置/居心地のいい座席

フリースペース

フリースペースを夜間に使えると良い/フリースペース/本公演の前にプレ企画のプチコンサートや学んだりする催しが、ロビーコンサートや小さいスペースのホールでやってみたいと思います。子ども達の学びの場にもなります。

催し物

夜間に一部でもイベントで使えるとうれしい/夜間利用もできるスペースがほしい/アマチュアバンドでも演奏練習出来ると良い/イベント以外でも使えるようにして欲しい/各種イベント時 座るスペース/伴奏のできるAI/歌をうたいます/多目的な催しに対応できるところが良い（ホールの外でも）/「東九州」音楽外、古楽祭、合唱祭、演劇祭、短歌祭、民謡祭、etc...中核ホールとしてのイベント/マルシェ/マルマルや宮崎駅の様屋根（または庇）をつけて、雨でもイベントを行えるように/野口遵記念日にはミニコンサートをしたい/小学生を日替わりで招待 参加型のコンサートをしたい（利用回数を増す）/音楽を親しむ子ども達にも楽しい/最高の音楽と最高にうまいものを！/最高の音楽と最高の食を楽しむ

展示

野口ギャラリーは、展示だけでなく、多目的に使えるようにして欲しい/64年間の歴史を資料として展示し新しい建築へと繋げてほしい/ギャラリーは外から直接入れないのか？/現在の野口記念館の写真があると良い/展示室を中心に周辺を生かした資料展、記念展/野口遵さんの展示 ・野口記念館のあゆみ（写真・資料展示）/これまでの歴史をふまえたギャラリー

運営

運営のための市民参加 利用者参加検討/ホール完成後の運営に関してのワークショップがあっても良いのでは/運営について 市民参加はどこまで/フロントスタッフのボランティア/自主事業などを考えるスタッフ/ただの箱にならない様、充分な運営予算とブレインを！/自主事業の展開→スタッフルール？どこが企画？

倉庫

平台、所作台の収納 EV計画で床下収納（空間の有効利用）/ロッカー（出演者の貴重品入れ）

駐車場

出演者、駐車場のクローズ化/駐車場は、夜間開放はいかがなものか？/駐車場の管理

楽屋

大楽屋の鏡があった方が良い/屋外ロビー（テラス）と楽屋の仕切りは？/楽屋の多目的はどうしても引かかる。鏡がどうなるのか。洗面台もほしい

屋外テラス/屋外ロビー

屋外ロビーと内部を一緒に使えると良い/屋外ロビーは夜間でも使えると良い/屋外テラスにも屋根が欲しい/屋外ロビーに屋根ほしい。天気左右されない/屋外100V、200V一般コンセントでOK

サイン

避難表示を大きく/誰にも聞かずに目的の場所へ行ける（しっかりとした案内）

通り

野口遵どおりからの眺めにも期待したい/とおりの機能を生かしながらかもちょっとしたベンチ等を置く/通り→移動式パネル ・子ども達の作品展示（来訪者が増える）/3つの通路を多目的に使う方法を考える

トイレ

快適なトイレ/トイレの件 北側を南側に確保のこと/快適なトイレ ・フタのある便座 ・手荷物を掛けられる高さ（子ども、高齢者）

ピアノ

ピアノの選定

建物

外観は高尚で気品のある色調に/ある程度の品格は欲しい/コミュニティセンターではなく、品格にある雰囲気的空間にして欲しい/道路面から建物の中がよく見えると良い/外からも中からも見えるガラスがよい（外観）/ロビーの家具（イス・テーブル）もセンスの良いものを！！地場産材で作ってもよい/耐震設計に気をつけてほしい/医務室があると良い/地場産材を使った家具が欲しい（固定）/若者が集えるスペースが欲しい/ガラス面にたれ幕を設置しないよう、きちんと「たれ幕 設置場」を作って欲しい/外周りの開放感のある場所、明るさ…安全性/落ち着いた照明/ホールを使わなくても気軽に使えるおしゃれな空間がほしいです。/イベント開催前の滞在スペース/子供が遊べるスペース/子どもと一緒に来て楽しい施設へ（例）1階の別棟で食事ができるよう

ひとことアンケート

- ・「いろんな意見があるなあ」と今日も感じました。これまでたくさん意見が出ましたが、どういう反映をされるのか楽しみにしています。市としての考え方もどうなるのか気になります。期待しています。（中途半端な施設にならないように…）
- ・設計のことは（ホール）説明をしていただきよく理解できましたが、楽器などの予算はどの程度なのか。ホールの運営の仕方？実際ピアノを3台も必要なのか？（コンサートピアノ3台）1台は誇れるピアノはほしい。
- ・市民有志の衆知を集めたワークショップのプロセスは大変有意義で効果的でした。多様な意思・要望が出されたので、全てを叶えることは難しいかも知れませんが、マジョリティを具現した野口遵記念館が完成することでしょう。まとめは、専門家の知見で仕上げて下さいますように。
- ・このワークショップに参加させていただいて本当に良かったですし、感謝です。新しいホールに期待大です。
- ・建物をどう使うか？予算枠とか開館日数、もう4回以上になるのでそろそろ、ここまでできる、できないということも言っていただくと、より現実的で具体的な議論が深まると思います。準備お疲れ様です。
- ・むしかえしになってしまうが”どん帳”が欲しい。何とか再検討してほしい。
- ・私の世代では、圧倒的に野口記念館での催し物の記憶が大きい。・ひょっこりひょうたん島・太陽の王子ホルスの大冒険（宮崎駿監修）等・高校時代の鑑劇会若い人は文化センターだと思うが…。その意味あいから文化センター世代の意見も必要かなと思った。記憶に残る公演を多数催して欲しいです。
- ・又、次も参加させてください。



質疑応答の様子



意見交換の様子



グループ発表の様子



グループ発表の様子

設計者、事務局からのコメント

設計者コメント：

前回ワークショップでホール周りに関する質疑が多かったことから今回の最新案説明では変更点とホールについてできる限り詳細に説明させて頂き、併せて質疑応答の時間を設けることで参加者の皆様の理解を深めて頂きたいと考えました。ワーキングでは具体的な活動のイメージだけでなく運営形態や事業計画、更にこのホールの目指すべき方向性についての意見が生まれ、この施設の検討が新たな段階に入りより成長している事を実感することができました。

事務局コメント：

これまで、参加いただいた皆さんに、たくさんのご意見を出していただきながら進めてまいりました市民ワークショップは、今回をもって最後になります。今回は、テーマについて事前に考えをまとめていただいて、参加いただくこととしたため、会場では、舞台音響や楽屋の取り扱い、また施設の管理運営への言及など、広い視点から貴重なご意見をいただくことができたものと考えております。これまで4回にわたっていただきました様々なご意見や、皆さんの熱い思いに応えられるよう、今後設計を取りまとめてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

設計者 香山・小嶋・菊池・松下・コトブキ・オーツ特定建築設計共同体

事務局 延岡市教育委員会 野口遵（したがう）記念館建設室

【お問い合わせ】

〒882-0822

宮崎県延岡市南町2丁目1番地8（市役所南別館）

延岡市教育委員会

野口遵（したがう）記念館建設室

tel:0982-20-5523

fax:0982-34-6438

e-mail:noguchi-k@city.nobeoka.miyazaki.jp

今後の開催予定

第5回	延岡市役所講堂	未定	・基本設計市民説明会
-----	---------	----	------------